

から何も与えてはならない。

火災時の措置

消火方法：

(1) 周辺火災の場合

速やかに容器を安全な場所に移す。

移動不可能な場合は容器及び周囲に散水し消火する。

(2) 着火した場合

火元への燃料源を断ち、消火剤を使用して消火する。

スプレー水で火災に曝露されている表面を冷やす。

消火作業は風上から行い、消火を行う人は場合によって呼吸保護具を着用する。

消火剤：泡（耐アルコール）、粉末、二酸化炭素

漏出時の措置

(1) 保護具を着用し、風上から作業する。

(2) 付近の着火源となるものは速やかに取り除く。

(3) 下水等に入り込まないように注意する。

(4) 漏れた液は砂などで囲みビニールシート等で覆い、蒸気の発生を抑えながら回収する。

取扱い及び保管上の注意

取扱い：(1) できるだけ吸入、皮膚接触を防ぎ、必要に応じ適切な保護具を着用し、風上から作業する。

(2) 蒸気の発散をできるだけ抑える。

(3) 取り扱い後は手洗いを十分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。

(4) 取扱場所では火気、火花、アークを発する物又は高温点火源を使用しない。

(5) 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発散させない。

保管：(1) 容器は密封し、直射日光を避け冷暗所に保管する。

(2) 貯蔵場所では常に整理整頓及び清掃に努め、みだりに不必要な可燃物を放置しないこと。

(3) 収納した容器を貯蔵するときは地震等で容器が容易に転落、転倒し又は他の落下物により損傷を受けないようにする。

暴露防止措置

管理濃度：なし

許容濃度：日本産業衛生学会勧告値（2004年版）

時間荷重平均：未設定

ACGIH(2004)勧告値

時間加重平均(TWA)：未設定

設備対策：蒸気の発生源を密閉する設備又は局所排気装置を設ける。

保護具：保護眼鏡等

その他の衛生上の予防措置

(1) 取り扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。

(2) 健康診断を定期的を実施する。

(3) 安全衛生教育を実施する。

物理 / 化学的性質

外観：無色の液体

比重：1.03

沸点：データなし

融点	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
蒸気比重	:	データなし
溶解度	:	データなし

危険性情報（安定性、反応性）

引火点	:	124
発火点	:	データなし
爆発範囲	:	データなし
反応性	:	一般的取扱い、貯蔵の条件では安定。
自己反応性	:	特になし

熱分解すると有害な CO、CO₂ が発生する。

有害性情報¹⁾

刺激性	:	皮膚	刺激性なし〔成分〕
		皮膚	弱い刺激性〔成分〕
		眼	刺激性あり〔成分〕
		眼	中程度の刺激性あり(Draize 法)〔成分〕
感作性	:	ヒト RIPT	感作性なし〔成分〕
急性毒性	:	経口	LD ₅₀ 約 2,200 mg/kg〔成分〕
		経口	LD ₅₀ 1,260 mg/kg〔成分〕
		経皮	LD ₅₀ 14,422 mg/kg〔成分〕
亜急性及び慢性毒性	:		データなし
変異原性	:	エームズテスト	陰性〔成分〕
発がん性	:		データなし
催奇形性	:		データなし
代謝・排泄	:		データなし
その他	:		光感作性なし〔成分〕

環境影響情報

生分解性	:	易分解性〔成分〕
生態影響	:	環境中で悪影響を与えるデータなし

廃棄上の注意

- (1) 空容器であっても、内容物が残留していることがあるので取扱いには注意する。
- (2) 空の小型容器は栓を固く締め、空容器であることを表示する。
- (3) 容器を修理又は廃棄する場合は、液抜きした後、水洗又はスチーム洗浄を行い有機物を完全に除去した後に行う。
- (4) 廃液、高温排水、スラッジなどは、そのまま又は易燃性溶剤とともに、少量ずつ焼却炉に噴射して焼却処理するか、又は廃棄物処理免許を持つ処理業者に処理を委託する。
焼却処理を行う場合は、有害排ガスが発生する恐れがあるので燃焼排ガスの処理対策を行う。

輸送上の注意

- (1) 車輛等によって運搬する場合、荷送人は運送人に運送注意書を交付するのが望ましい。
- (2) 輸送前に容器が密封されているか、又は液やガスの漏れがないかを確認する。
- (3) 容器の輸送及び運搬は、常にしっかり固定した状態で行い、特に瓶及び缶は輸送中に互いに衝突して破損することのないようあらかじめ適当な緩衝物を詰めていく。

主な適用法規

消防法：

法別表 危険物第4類第3石油類(非水溶性)(指定数量 2,000 L)

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、通常の手配を対象としたものであって、特別な手配をする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、手配には細心の注意が必要です。

ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さいようお願い申し上げます。

参考文献

- 1) ISP SAFETY DATA SHEET